

フジワラ 4 兄弟 の野望



YASUSHI NATSUKI
夏木康志

目次

1 出会い	1
2 40歳の孤独	3
3 フジワラ 4兄弟の野望	5
4 グレート・アジア	7
5 エージェント	10
6 潜入	12
7 推測	14
8 電話	16
9 真犯人	18
10 結末	21
特別付録 遙かなるグレート・アジア伝説	23
奥付	
あとがき	31
奥付	33

1 出会い

誰だ?この隣でいびきをかいて寝ているオバサンは?

ふと酔い潰れて目が覚めてみると、隣にペイントをした女が寝ていた。若くはないが、俺と年は一緒くらいな雰囲気だった。

マジで知らないぜ、こんなヤバそうな女。それに、ここはいったんどこなんだ?頭が痛いぜ。

昨日はよかったワ。あたしをプロレスの魅力から解放してくれると口説いた男はあなたがはじめてよ。あなたにほれたワ。マジで...

うん。何か聞き覚えのある声だな。プロレス、俺も昔は憧れて、ハイスクール時代に総合のジム通ったりしたな。ア、アジアにこのペイントの感じ似ていないか?

ア、アンタもしかして、あの女子プロレス統一王座のグレート=アジア様じゃないか?

様、はいらないワ。アジアと呼んで、昨日もそういったわよね。

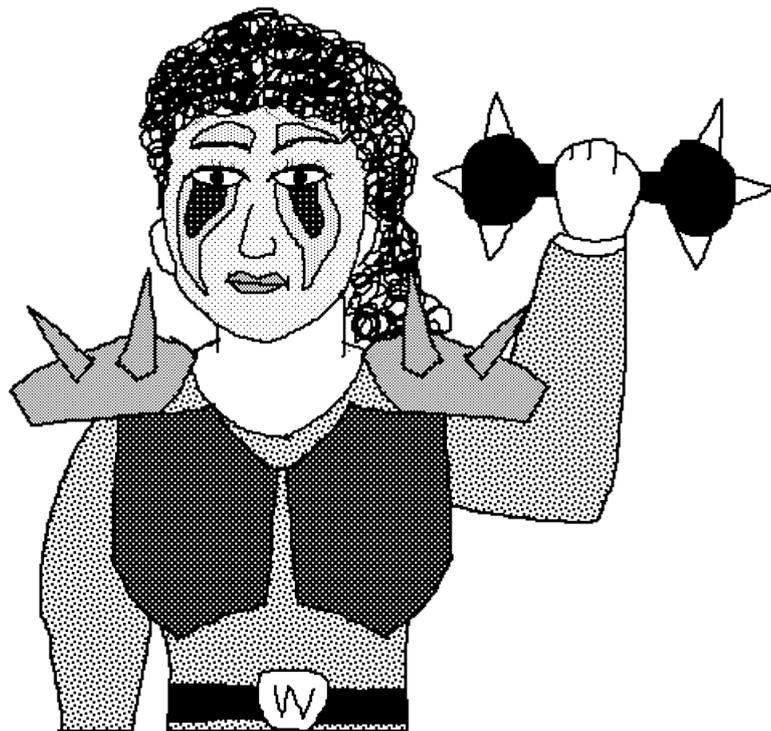
目が覚めると自分はパンツ一丁で横たわっていた。となりの女、いやグレート=アジアは白いシーツをかぶっていたが、おそらくその中は...いや、想像したくもない、か。

こうして、俺たちの同棲生活、いや、今に至るまでの夫婦生活ははじまった。俺の名前はタビト大伴だ。隣に居ていた女は、今は大伴亜路逢、つまりあの有名なグレート=アジアの正体だ。

一番やってはいけないパターン、つまり、飲み会で酔い潰れて知らない女と一夜を過ごす、もちろん何がその夜にあったか、全く記憶にはないのだが...というパターンで俺たちの共同生活ははじまった。

10カ月後、長男が生まれ、俺はヤカモチと名付けた。それからまた一年後、長女が生まれた。長女は、アジアの希望になって欲しいという妻の願いから、亜希子と名付けた。アジアの実家はウェヌスジムという女子プロレスの道場だった。俺は小説家になる夢を捨てきれずにサラリーマンをやっていた。アジアは亜希子が生まれた時点で、プロレスを辞めたが、トレーニングは続けていた。ただ、トレーニングの方法は現役時代とは違っていた。ショーレスリングから実戦的なユニバーサルレスリングにスタイルを変えていた。それから15年の年月が経った。

アジアは今年40歳になった。



グレート・アジア（大伴亜路逢）

2 40歳の孤独

俺もアジアと同学年だった。息子のヤカモチは高校を中退して、売れっ子のシンガーソングライターになっていた。俺は小説家になる夢を捨てきれず、家族に相談もせず会社を辞めて、『にがり酒』という本を自費出版した。会社をやめた俺に抗議して、アジアと亜希子は、そそくさと実家に帰っていった。小説は売れず、家族には去られ、俺は一人で近所の焼き鳥屋でビールを飲んでた。

ハイボール、入ります。いや、おれはウィスキーはあまり飲まない主義だが...

となりのお客さんから、ですよ。

いや、どうも。小説家のタビト大伴先生ですよ。ワタクシ、ジパング文学に興味がありまして、先生の小説『にがり酒』を読んで感動して、シチリアから先生を訪ねて来たんです。

今日はワタクシが先生にごちそうしますよ。ハイボール、ぐいっと飲んでみてください。気分が変わりますよ。ワタクシは基本ヴィーノロッソ(赤ワイン)しか飲まない主義ですが。この焼き鳥屋にはそんな洒落たものはありませんよね。

この俺の小説の読者と名乗る男は、ゲーセ・ハロルドという名前だった。ハロルド氏は古武術をベースにした格闘術の使い手で、気という不思議な能力が使えた。彼は俺にも気の使い方を説明してくれた後で、こう言った。

先生の小説をもっと面白くするために、探偵業をはじめてはいかがでしょう？先生の格闘技の能力と、この気を使った技、それにマックがあればCYBER探偵として食べてゆくことができますよ。探偵で仕入れたネタで小説を書けば、もっと人気も出るはずですよ。小説が本格的に売れば、先生のご家族もきっともとのサヤに収まるでしょう。

こうして、俺はよろず探偵業を始めることになった。迷子のネコ探しや街の不良グループの更生、不倫や夫婦ケンカの仲裁まで、いろいろな業務を引き受けるうちに、俺にもついに大きな依頼がやってきたのだった。



タビト大伴

3 フジワラ 4 兄弟の野望

この地球圏は国連が解体された後、地球連合政府が牛耳っていた。このジパング地方はキング長屋が牛耳っていた。

キング長屋はジパングの新星信長と期待された有望な政治家だった。その彼が昨夜とつぜん変死した。

将来は地球連合政府のナンバーワンを目指していると目されたキング長屋が自宅パーティーの後変死したという報道を聞いて、誰しも疑ったのはジパングで政権の要職を占めているフジワラ 4 兄弟だった。

長男のフササキ、次男のマロ、長女のウマカイ、末っ子で三男のムチマロは地球連合政府が出来た際に貢献したとされるフヒト・フジワラの子供で、通称フジワラ 4 兄弟だった。

長男のフササキを筆頭格として、宗教家のマロ、オヤジキラーの通称を持ち浮き名の絶えないウマカイ、そして姉思いで知られるムチマロの 4 人は、ジパングの大臣の要職を独占し、警察権力も軍事力も握っていた。そして彼らに唯一対抗出来る政治家がジパング大統領のキング長屋だった。

しかし、キング長屋を目の上のたん瘤のように憎く思っていた人間は他にもいた。初代地球連合政府の代表で、最後の某合衆国大統領だったハラリー代表、その夫で影の最高実力者との異名をとったビリー氏だ。

ビリー氏はもと某国の大統領で、自らのスキャンダルがもとで多大な借金を作って、今はフリーだった。ビリー氏の政治基盤を引き継いで、初の合衆国の女性大統領となり、最後の大統領になったのか奥さんのハラリー (現連合政府代表) だ。ハラリーは地球連合政府を立ち上げる際に、キング長屋を色仕掛けで口説き落として、環太平洋同盟を作り、

GDP でぎりぎり中国に匹敵した環太平洋同盟の力とカネで国際連合の発展的解体を先導した。

ハリリーとキング長屋の関係をビリー氏は快く思っていない。過去に自分が不倫疑惑で某合衆国の大統領の座を奪われそうになったことや、弁護士資格を持っていた妻のハリリー氏に助けてもらったことをさておき、妻とジパングのナンバーワンとの関係をビリー氏は不快に感じていた。まあ、今報道されていることはこんな内容だ。庶民の俺は世間の常識程度にはキング長屋氏のことやフジワラ 4 兄弟の野望、ビリー氏の陰謀について知っていた。俺は二流の探偵で、三流の小説家だったが、あの依頼が来たことで俺の人生にも転機が訪れた。その依頼はヤスイ生命からで、キング長屋氏の変死事件について調査してほしいというものだ。



フジワラ 4 兄弟（ウマカイ、マロ、フササキ、ムチマロ）

4 グレート・アジア

プロレスラーになるつもりなどなかった。生まれた時からプロレスラーの家で育ち、自宅兼ジムで育ち、生まれつきのプロレスラーと言った方が正確だった。なる「つもり」などなく、最初から自分はプロレスラーで、産湯につかったときからプロレスラーとして世間と人生にリングインしたようなものだ。

そう思って生きて来た。

ベルトは取った。他団体にも殴り込みを掛けて、世界女子 7 団体のベルトを統一した。

しかし出来ないこともあった。

男子にはどうしても勝てなかった。いや試合をすれば勝てたかもしれないが、マッチメイカーの都合で男子レスラーとの試合、特にベルトを掛けた選手権試合は絶対に組まれなかった。

この進んだ 21 世紀でも、プロレスの世界では女子が男子に挑戦することは、暗黙の了解で御法度だった。

もちろん今考えれば裏道もあった。誰もが考えもしないことだが、無差別級の総合の試合だったら、女性がエントリーして男性に挑戦することも可能だった。

総合格闘技、プロレス、この間にも見えない壁や団体のプライド、利権といったものがある。

自分がプロレスラーである前に、ひとりの女であった事実に気付いたのは、あの男と出会ったことだ。

あの男、今は自分の夫で小説家のタビト大伴だ。

夫のタビト大伴は小説家と言うよりは、詩人という呼び方がふさわしい。そう理解していた。処女作の『にぎり酒』は小説と言うよりは散文詩だった。リズムのある文章、詩情という言葉があ作品にはふさわしい。

別にあの出会いが自分を変えた訳ではない。そう言い聞かせていた。しかし、まだ夫になる前のタビト大伴は、初めて自分と出会った時、こう言ったのである。

君をリングの魅力から解放する。俺の彼女になってくれ。

今考えれば、この口説き文句でキャリアを捨ててまでだまされる必要はなかった。ただ、相手は詩人だった。自分はことばを職業にするものでは、なかった。

相手が自分より総合を知っていることも以外だった。格闘技について詳しいだけではなく、アマチュア格闘技大会での実戦経験も相手の方が上だった。

それは自分がプロとしてのキャリアが長く、アマチュアの実戦経験が少ないのも理由の一つだった。

妊娠、出産を期にリングからは引退してしまった。もちろんトレーニングは続けていた。

またリングに戻るきっかけ、それも夫の行動だった。夢を捨てきれず小説家になろうとした夫の行動が、実家のウェヌスジムに戻ってまたプロレスをはじめるというきっかけになった。重大な転機だ。そして、自分について来た娘の亜希子もプロレスラーを目指すと言っていた。

ジムのネットビジョンではササキウォーリアーの試合が生中継されていた。既に彼はプロレス界5本の至宝ベルトを統一していた。彼がもっていないのは総合系プロレス、ユニバーサルレスリングファウンデーションのベルトと世界デスマッチプロレスの至宝ベルト、世界バーナックルヘビー級だけだった。

どちらのベルトも正統派プロレスをスタイルにするササキウォーリアーには獲得が難しいタイトルだった。ユニバーサルレスリングファウンデーションのベルトは格闘技色が強過ぎ、スリーカウントもない。世界デスマッチプロレスのベルトは、もちろん反則・凶器攻撃なんでもありなので、これも彼には向かなかった。

もし仮にこの7つのベルトを統一する者が現れたら、歴史的偉業の達成は間違いなかった。

ワン・ツー・スリー

「ヴォー、俺は誰の挑戦でも受ける！」試合が決まった後、彼はそう叫んでいた。

その言葉本当ね。ワタシがアンタを倒してプロレスメジャータイトル7つ全て統一を目指すわ。

そのためにはまずユニバーサルレスリングの試合に出て、次は世界デスマッチプロレスの試合ね。

まあ、凶器なんて有刺鉄線ファイヤーバットを使えばイチコロだわ。

そんなことを考えつつ、アジアは黙々とスクワットをしていた。

5 エージェント

クライアントのヤスイ生命からの依頼を持って来たのはオクラ山上と名乗る中性的な容姿の若い男だった。

オクラはこう言った。

タビト大伴さん、あなたの探偵としての実績を私たちは買っています。キング長屋氏の変死事件について、もし殺人であれば保険金は支払われないことになっています。つまり私どもはキング長屋氏の死因が誰かの陰謀による暗殺ではないかと考えています。あなたの腕の見せ所です。犯人を探して事件の真相を暴き、社会正義のために貢献してください。あなたには出来るはずですよ。

俺はオクラの言葉の裏を探っていた。社会正義?実際大切なのはカネの動きだろう。しかし、仕事は仕事だった。

わかりました。この依頼お引き受けしましょう。数週間以内に長屋氏の死因についてまとめたレポートを作製します。

ありがとうございます。私もアシスタントとして調査をフォローさせていただきます。依頼のギャラは100万グローバルリラです。

俺はマックに向かうと、ディスプレイに向かってこう話し掛けた。

キャット、長屋氏変死事件の全貌をグローバルネットで検索してくれ。

俺がキヤットと呼んだのは、キヤットマックというネコ型エージェントで、グローバルネットとは、かつてのインターネットが進化した第6世代地球圏ネットワークのことだ。

俺にとっては、はじめての大きな依頼だったが、この依頼が俺の人生を大きく変えることになるとは今は思いもしなかった。



キング長屋氏

6 潜入

俺は長屋氏変死事件のあった長屋氏の私邸を訪ねた。まずは玄関をノックして執事を呼び出し、自分が私立探偵である旨とクライアントからの依頼を問題のない範囲で話した。

タ、タビト大伴さんですか?聞いたことの無い名前ですね。残念ですが、警察の方から通達があり関係者以外の立ち入りをお断りさせていただいております。

まだ長屋氏の死因もわからないが、もし暗殺だとすると、その警察権力を握っているのがジパングの官房長官かつ警察庁長官であるフササキ・フジワラだ。つまり事件の容疑者のひとりと警察のトップは同じ人間だった。

俺はアイウォッチでクラウド上のキャットマックに連絡を取った。

キャット、長屋氏の私邸のセキュリティシステムを一時的にダウンさせてくれ。

イエッサー!

俺はキャットマックの力を借りて、長屋氏の私邸、つまり事件があった長屋氏の50歳記念パーティ会場に潜入した。

長屋氏の私邸の食堂ではパーティーが行われた当時のままになっていた。各テーブルには席次が記されていた。メインテーブルには長屋氏とフジワラ4兄弟、それにハラリー氏といった大物達が座っていた。俺は長屋氏の席においてあるワイングラスの中身と長屋氏が手をつけていた食事のサンプルを採取した。

もし毒物か薬品が食事に仕込まれていたなら、このワインと食事のサンプルを分析にかければ、わかるはずだった。

あとは長屋氏の私生活に事件のヒントがあるのではないか。

そう考えた俺はアイウォッチのハッキング機能を使って、万能キーを呼び出し、俺はキング長屋氏の書斎に潜入した。

俺は長屋氏の書斎でダイアリーに挟まれていた手書きメモを入手した。そのメモには手書きでこう記されていた。

ATTOMOWUKUODINIHSATAWAGIAKAMU

YRARAHIAOW

ローマ字表記で何を書いてあるかはわからなかったが、後で分析すればわかることだと思った。これが長屋氏のダイニングメッセージのようだ。

書斎で野生の勘を頼りに探索をしていると、俺は執事の足音を聞いた。

どうやらドブネズミが一匹入り込んだようですね。

俺はアイウォッチでクラウド上のキャットマックを呼び出すと、あらかじめ長屋氏私邸の近所に呼び出していたオクラ山上に合図を送り、私邸の側で爆竹を鳴らさせた。

騒ぎがもとで執事や警備員達の関心が逸らされたと同時に俺は長屋氏の私邸から脱出を試みた。

7 推測

俺は自宅兼事務所に帰るとオクラ山上と合流して、サンプルにとった長屋氏が最後に食べた食事とワインの分析を依頼した。

ドクター・トリックに頼んでこのサンプルの分析をしてくれ。長屋氏の死因が毒殺であった可能性もある。

俺は長屋氏のダイアリーに挟んであったメモの存在はオクラには話さなかった。

俺はオクラが帰った後、暗号魔人という暗号解析ソフトを使って、長屋氏のメモの内容を分析した。

暗号魔人はこのような内容のヒントを俺に返した。

右から左へ読むこと

第一メッセージは単なる日本語

第二メッセージはおそらく中国語で記されている

後は、不明

もう君は長屋氏のメモの内容を解読出来たことだろう。

問題は長屋氏の最後の食事と人間関係だった。

ついでに俺はキャットマックを使いエージェントを名乗っているオクラの身辺についてもそれとなく探りを掛けてみた。

オクラは表向きはエージェントを名乗っていたが、正体はジパング地方組織の上級官吏だった。外交官のような仕事をしており、スパイまがいの業務も行っていた。かつてあのビリー氏とも部下として一緒に仕事をしたことのある男だった。

8 電話

俺はアイウォッチを使って、久しぶりに妻に電話を掛けた。

アンタ、久しぶりね。最近探偵始めたとかいう噂聞いたけど、デマよね？

あっ、そうですか。ご、ご冗談を。もちろん、小説の執筆に専念してます。

そう言えばいいニュースがあるわ。ついに私、ユニバーサルのベルトを取ったの。それに世界バーンナックルヘビー級も。

えっ、ホント？ユニバーサルも世界バーンナックルヘビーも男子のベルトじゃないの？

いや、U のベルトは男女関係なく総合ルールで最強のプロレスラーが巻けるのよ。世界バーンナックルのベルトはデスマッチで凶器使用可だったので、有刺鉄線ファイヤーバットを試合に持って行ったわ。相手はただの竹刀しか持って来なかったの。

楽勝だったわ。チャンバラの時に相手の竹刀をバットで壊した後、一瞬油断してバットを奪われそうになった時が、唯一ピンチだったけど。握力には自信があったので、バットは手放さずに済んだわ。

二冠王、ホント、おめでとう。

次はササキウォーリアーの5冠ベルトに、この2本のベルトをエサに統一戦を挑むワ。

まさか、アッコに試合を見せてはいないよな... アッコには普通の女の子でいて欲しい。

いや、ユニバーサルの選手権の時は、セコンドを頼んだわ。世界デスマッチプロレスの試合の時は、金網リングだったので、セコンドもなしだったけど。

ふ、ふざけんな。アッコにはプロレスには関わらせない約束だっただろう。

家族を捨てて、会社を辞めたアンタにどうこう言われる筋合いはないわ。トレーニングで忙しいから、切るわよ。

俺は二冠王になった妻とプロレスに興味を示し始めた長女の亜希子にショックを受けると共に、そろそろドクターからサンプルの分析結果が届くころだと思っていた。



大伴亜希子

9 真犯人

俺はサンプルの分析結果をアシスタントのオクラから受け取った。

致死量の強力な睡眠薬がサンプルのワインから検出された。

そう結果には書いてあった。

俺はあらかじめアイウォッチのボイスレコード機能をオンにすると、オクラにこう告げた。

長屋氏の死因は毒殺で、致死量の睡眠薬が長屋氏のワインから検出された。

それで犯人は一体誰なんですか？

長屋氏のダイイングメッセージのメモによると、犯人は...

...ウマカイ=フジワラだ。

そうですか。ではその内容で今回の調査レポートを作っていただけますでしょうか？

いや、直接の実行犯はウマカイだが、今回の事件には真犯人がいるように、俺は理解している。

真犯人?興味深いですな。教えていただけますか？

真犯人はビリー氏だ。長屋氏のダイイングメッセージは二つ。一つは日本語で「ウマカイが私に毒を盛った」と解読出来た。

もう一つには簡単な中国語で「我愛ハラリー」と書いてあった。これが最期に長屋氏の残したメッセージだ。

つまり長屋氏はハラリーと不倫関係にあり、それに嫉妬した夫のビリー氏が今回の事件を計画した真犯人のように俺には思える。あくまでこれは俺の推理だが...

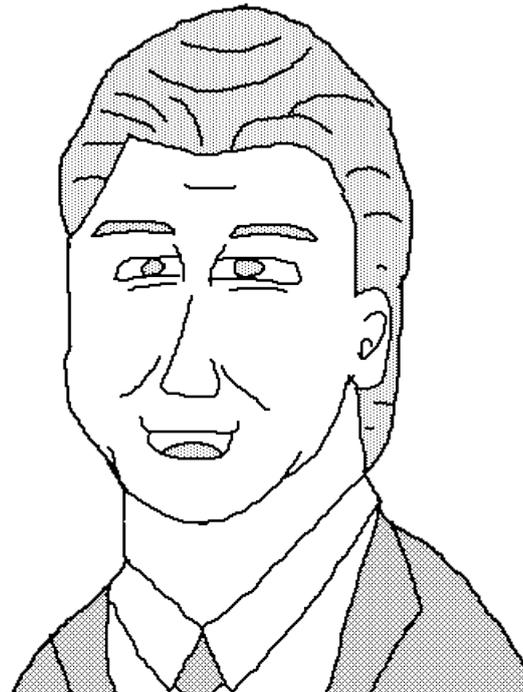
そこまでわかってしまいましたか... ワタシの組織が3流探偵に調査を依頼したのは、事件の真相を闇に葬り、フジワラ4兄弟を失脚させると同時に、主人(あるじ)のビリー様を守るためだったのですが。

しかしビリー様が今回の長屋氏暗殺を計画した真犯人であるという証拠は、何もない。

証拠か、アンタはかつてビリー氏の配下だった。それに、今の会話はアイウォッチに全て録音済みだぜ。

そうですか。では、永久にその証拠を知った貴方には眠ってもらいましょう。

そう言い放つと、オクラは俺に銃口を向けた。



ビリー氏

10 結末

俺はオクラ山上の銃を見えない気弾で弾くと、ヤツを渾身の右ストレートでダウンさせた。

クライアントのヤスイ生命はキャットマックに調べさせたところ、ビリー氏の出資しているダミー会社だった。

ジパング警察庁はフジワラ 4 兄弟の配下にあるため、俺は連合警察に今回の調査内容をリークした。

グローバルネットやマスコミで今回の事件の真相が取り上げられると、ウマカイ・フジワラは殺人罪で連合警察に逮捕され、フジワラ 4 兄弟はジパング地方政府の大臣職から全て失脚した。

ビリー氏はキング長屋氏の愛人ウマカイに、長屋氏がハラリーとウマカイの二股を掛けていることを話し、嫉妬心に狂ったウマカイに長屋氏の暗殺を唆したのだ。

ビリー氏は今回のスキャンダルも弁護士の手やもと某国大統領の座にあった権力を使ってもみ消すと、平然としていた。

一方、フジワラ 4 兄弟のリーダー格であるフササキ・フジワラはジパング地方政府の主要職やジパング地方大統領代理を罷免されると、こう言い放ったという。

私立探偵、タビト大伴か、覚えておこう。この借りは必ず返す。

こうして地球連合政府乗っ取りを企んでいたフジワラ 4 兄弟の野望は終止符を打たれた。

妻のグレート・アジアは今日、ササキウォーリアー相手にプロレス世界7冠統一選手権試合に挑んでいた。

結果は、またの機会に話そう。

特別付録 遙かなるグレート・アジア伝説

地球圏七色のベルト、全てを統一するという偉業が、二人のレスラーによって争われようとしていた。

メジャー3団体のベルト、全てを統一した5冠王。

そしてインディーと格闘系プロレスのベルトを統一した2冠の王者。

一方は、あのササキ・ウォリアーだ。そして、もう一方はユニバーサル実力ナンバーワン選手権と世界バーンナックルヘビー級選手権王者、我らがグレート・アジアだ。

あのササキ・ウォリアーがどうしても取れなかったベルト。ユニバーサル実力ナンバーワン選手権のベルトをマウントパンチからの垂直落下式ブレンバスターによるKOで取ったグレート・アジア。相手はあの初代レジェンド・パンサーだ。そしてプロレス界悪の帝王と恐れられた、あの男との壮絶な死闘を制し、世界バーンナックルヘビー級のベルトまで統一したグレート・アジア。あの男とは、もちろんデスマッチ界の神であり、帝王、ザ・グレート・セキカワだ。相手が女性だと思って凶器を竹刀しか持って来なかった前王者に対して、壮絶なまでの有刺鉄線ファイヤーバットによる攻撃で勝利した。邪道と軽蔑していたデスマッチだったが、地球圏七色のベルトを統一するという目標のためにはやむを得なかった。

入場テーマが鳴る。赤コーナーに、メジャー最強のフリー王者、ササキ・ウォリアーが入場する。一方、青コーナーにはプロレス界最強の女王、グレート・アジアが入場する。もちろんテーマ曲はファイナル・ウォリアー III のインストルメントだ。

オールバック、黒のタイトのストロング・スタイルで師匠を意識したササキ・ウォリアーに対し、ザ・グレート・セキカワを意識した白ベースの狂乱ペイントのグレート・アジア。ルールは時間無制限一本勝負！反則は5秒だけだ。そして両者リングアウトなしの、金網デスマッチだ。ササキ・ウォリアーはセコンドに弟子のスカイドラゴン Jr. を伴っていた。アジアのセコンドは、娘の亜希子だ。

ゴングが鳴る。両者、一気に力比べのロックアップから試合は始った。

パワーで押すササキ・ウォリアーに対し、グレート・アジアは一瞬表情をゆがめると、逆にササキを組み伏せた。そのままストーンピングの連打でテイクダウン。

会場のヴォルテージが一気に高まる。

ママ、ファイトっ！

ママじゃなくて、チャンピオンって呼びなさいと言ったわよね。

今の会話の際にササキ・ウォリアーが金網に身体をゆだねた。反動で強烈なラリアットを放った。アジアも強烈なクローズラインで、相打ちとなる。

ササキ・ウォリアーはチャンスとみて、グーパンチでアジアの顔面を殴った。5秒間だけだったら、どんな反則も許されるところが真の格闘技、プロレスの怖さだった。アジアはカウンターの掌底から、強烈な右、左のミドルキックの連打だ。そのまま、右のローリングソバットを決めるアジア。

私は、あのレジェンド・パンサーに勝ったユニバーサル実力ナンバーワンよ。

ダウンしたササキを、チキンウィングフェースロックに捉えるアジア。

ササキ・ウォリアーは冷静にポイントを外して、技を解くと、一瞬の隙を着いて、アジアのバックを取った。その後、逆片エビ固めから、得意のサソリ固めに移行した。

アジアは、腕立て伏せをしてサソリ固めを外した。

難攻不落、お互いに想いがよぎる。

スタンド勝負に移行すると、両者ともにラリアットの打ち合いだ。3発ラリアットが相打ちになったところで、両者はまた金網に身体をゆだね、反動でリング中央を目指していた。

4度目のラリアットに来たアジアをササキはパワースラムで切り返した。

そのままフォールに行くササキ。

カウント2で切り返すアジア。

すかさずササキ・ウォリアーは雄叫びを上げると、ダウンしているアジアを真逆さまに持ち上げてパワーボムだ。

フォールには行かない。

次にボディスラムで畳み掛けるササキ。立ち上がったアジアの左脇に頭を入れると、ササキはアジアの両腕をクラッチして、そのままのけぞり気味に後方に投げ放った。

ノーザンライト・バスターが決まった。

あのノーザンライトスープレックスを投げっぱなしに改良した最強の必殺技だ。

ウヴォー。

ダウンしたアジアの首に膝頭を押し当て、ストラングル・ホールド・ネオを決めるササキ。

負けないで、ママ。

ママじゃないわ、チャンピオンよ。

グレート・アジアは強烈なスタミナでササキを跳ね返すと立ち上がった。

あのレジェンド・パンサーとの死闘を思い起こすアジア。

強烈な掌底の連打でコーナーまでササキ・ウォリアーを押し返した。その後、左右のミドルから左のソバットを叩き込んだ。今の一撃で、ササキはダウンした。すかさず顔面にハイキックの連打だ。

その後、マウントポジションを取ると鬼神の表情でエルボーを連打するアジア。

ササキ・ウォリアーは殴られながら、妻子のことを思い出していた。

ウヴォー。オレは負けん！

アジアを跳ね返すと、一気に立ち上がるササキ。

金網に身体をゆだねると、最後の力を振り絞って強烈なパワーラリアットを放つ。さらにもう一発。

二発目のラリアットをフジワラデスロック（ワキ固め）で切り返すアジア。

今のカウンターの関節技で、右腕を痛めたササキは、最後の手段で、左のハイキックを放った。

グレート・アジアは左ハイをキャッチすると、キャプチュード・スープレックスで切り返した。

フォールには行かなかった。

ダウンしたササキ・ウォリアーを頭上まで持ち上げると、そのままジャンプして前方に投げ放った。

アマゾネス・ドライバーが決まった。

ダウンしたササキの腕と足に身体を絡めて、パッケージ気味にフォールを決めるアジア。

ササキ・ウォリアーの肩は上がらなかった。

グレート・アジアが必殺技アマゾネス・ドライバーからの変形ハーフクラッチ固めによるフォール勝ちだ。

ママ、最高！ ワタシもプロレスラーになるわ。

ママじゃない。統一チャンピオン、グレート・アジアよ。

こうしてグレート・アジアは地球圏七色のベルトを全て統一した。グレート・アジアの名跡は13代まで引き継がれて、プロレス界のベルトを独占した。

しかし、あのグレート・アジア様でも、唯一勝てない格闘トーナメントがあった。それが、銀河最強タッグを決める格闘大会キングオヴギャラクシーだ。

本当の伝説が、今、はじまる。

奥付

あとがき

この作品は98年にハイパーカードスタック『フジワラ4兄弟の野望』として作者がはじめてインターネットに公開した作品を作者自らが小説化したものです。

ハイパーカードはマック向けの簡単なアプリケーション開発環境でした。ハイパーカードスタック『フジワラ4兄弟の野望』ではやる度に犯人とトリックがかわるランダム犯人モードや誰でもわかる犯人と、推理が必要な真犯人がいるという設定で、多くのユーザーに遊んでいただきました。

ハイパーカードスタック『フジワラ4兄弟の野望』の面白さがどこまで小説で再現できたかはわかりませんが、ここまで読んでくれてどうもありがとうございます。

『フジワラ4兄弟の野望』の主人公タビト大伴（オヤジ40）は『アルセーヌ・ポルゴ』の過去世界篇にも登場しますので、ぜひご覧になってください。

『フジワラ4兄弟の野望』はリメイクした最新版がMacOS向けに利用可能です。

主人公のサイバー探偵タビト大伴のコードネームはOYAJI40。はじめて『フジワラ4兄弟の野望』のアイデアの原案を思い付いた時は、作者はまだ高校生で、父親は当時は40代だった。それからフリーソフト作家生活を20年続けることになり、感慨は深いものです。

当時書いたイラストは未熟な面もありますが、それなりの味わいも残っているので、再利用しています。

『フジワラ4兄弟の野望』の次にヒットしたゲームが『THE KING OF GALAXY'99』と『THE KING OF GALAXY 2000』です。これらは最新版が『THE KING OF GALAXY XX』として受け継がれています。

2018年5月5日 夏木康志

奥付

フジワラ 4 兄弟の野望

<https://puboo.jp/book/39125>

著者：夏木康志

著者プロフィール：<https://puboo.jp/users/ynatsuki/profile>

感想はこちらのコメントへ

<https://puboo.jp/book/39125>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/39125>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのpapier（<https://puboo.jp/>）

運営会社：株式会社 paperboy&co.

フジワラ4兄弟の野望

著 夏木康志

制作 Puboo
発行所 デザインエッグ株式会社
